



スケジュール

PDCA Cycle **TAC**

スタートがあってエンドがある＝プロジェクト管理

CIA概要

勉強の進め方

傾向と対策

図解レジューメ

Part I
Part II
Part III
Part IV

CIA

Project

テキスト
イラスト
イラスト
(カード)

イラスト
(カード)
イラスト
テキスト

イラスト
(カード)
イラスト
テキストと参考書

合格

試験の理解

全般内容の理解

理解度の確認
弱点の補強



試験の理解

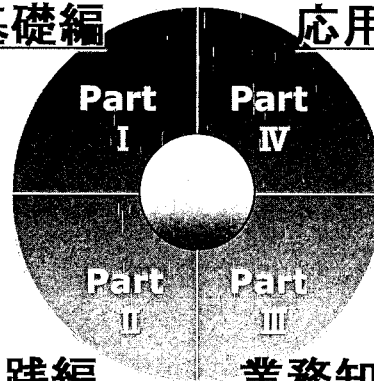
ガバナンス・リスク・コントロール における内部監査の役割

- A IIA属性基準の遵守(15-25%)
- B リスクベースの計画策定(15-25%)
- C 組織のガバナンスにおける内部監査部門の役割の理解(10-20%)
- D 内部監査のその他の役割と責任(0-10%)
- E ガバナンス・リスク・コントロールに関する知識(15-25%)
- F 監査計画(15-25%)

- A 監査の実施(25-35%)
- B 個別業務の実施(25-35%)
- C 監査結果のモニタリング(5-15%)
- D 不正の知識(5-15%)
- E 監査ツール(15-25%)

内部監査の実施

基礎編



実践編

応用編

業務知識編

ビジネスマネジメント・スキル

- A 戦略的マネジメント(20-30%)
- B グローバルビジネス環境(15-25%)
- C 組織行動(20-30%)
- D マネジメントスキル(20-30%)
- E 交渉(5-15%)

- A ビジネスプロセス(15-25%)
- B 財務会計(15-25%)
- C 管理会計(10-20%)
- D 規制・法律・経済(5-15%)
- E 情報技術(30-40%)

ビジネス分析と情報技術



4つの視点

TAC

Big Picture

鳥の目

空から見下ろす＝全社的な視野
に立って会社を俯瞰する

犬の目

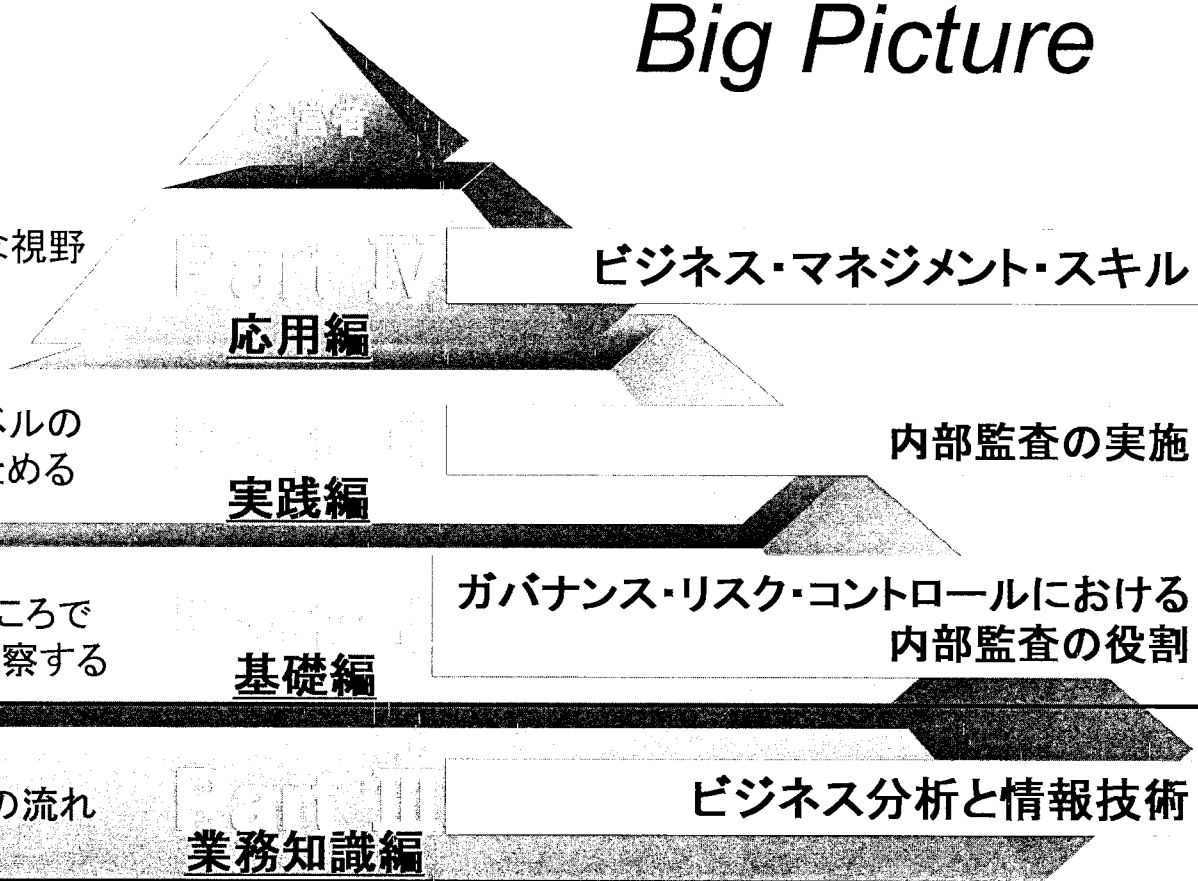
嗅覚で嗅ぎ回る＝現場レベルの
業務上の問題箇所をつきとめる

虫の目

複眼を使って見る＝近いところで
様々な角度から注意深く観察する

魚の目

水の流れを読む＝世の中の流れ
を敏感に感じ取る





アカウンティング
(基礎)

アカウンティング
(応用)

ファイナンス
(基礎)

ファイナンス
(応用)

試験の対策 5つのポイント

TAC

¥

物語(ストーリー)で学ぶべき！

→ 試験ドメイン(居場所)の確認

カネ物語

アカウンティング(財務会計)

ファイナンス(財務)

アカウンティング(管理会計)

テキスト(シラバス対応)

A-1/A-2/A-3/A-6

A-5/A-7/A-8/A-9/A-10/B-2

A-4/B-1/B-3/B-4/B-5/B-6/B-7/B-8

出演者

経理オタク

財務オタク

経営オタク

¥

オタクの脳役力を楽しむべき！

→ 苦手意識の排除

オタクは、闇雲ではなく、ルールを弁えて、過去と現在と未来へ繋がる主役のカネを引きたてている。

¥

オタクの専門用語を理解すべき！

→ 用語問題への対応

オタクの言葉は、はじめは異星人の言葉だが、話せばわかる万国共通言語である。

¥

オタクの計算パターンを理解すべき！

→ 計算問題への対応

オタクは、一見マニアのように見えるが、案外と、パターンの方式に則り計算していたりする。

¥

オタクの物語を広げるべき！

→ 関連書籍/講座のワンダーランド

オタクの力を身につければ、これまで見えていなかったものが、数字マジックで見えてくる。

財務会計 & 管理会計

基礎

財務会計
(アカウンティング)管理会計
(アカウンティング)

現在

未来

外部利害関係者

会計基準 (GAAP)

過去の実績

財務諸表 (貸借対照表・損益計算書・キャッシュ・フロー計算書)

内部マネジメント

制約なし

過去の実績 & 将来経営の計画

様々な経営情報 (例: 予算計画・財務分析・損益分岐点分析)

対象

選択

時間

レポート

- 財務会計
会社法・金融商品取引法
- 管理会計
(なし)
- 税務会計
税法

継続企業 (ゴーイング・コンサーン)

財務会計は、会社法や企業会計原則等による制約を受ける。そのため、経営者は、財務諸表を作成し、外部の利害関係者へ義務付けられた開示を行わなければならない。

管理会計は、会社法や企業会計原則等による制約を受けない。そのため、経営者の必要に応じて様々な形式でレポート類を作成し、企業の経営意思決定に役立てる役割を担っている。

現金主義 & 発生主義

基礎

現金主義とは、現金を受け取った時点(現金回収)で収益を認識すること、および、現金を支払った時点(現金支払)で費用を認識することを言う。**発生主義**とは、現金の回収または支出に関わらず取引の事実が発生した時点で、収益(実現主義)および費用(発生主義)を認識することを言う。

収益の計上基準
(商品等の販売)

出荷基準



到達基準

検収基準

回収基準

受注 信用調査 契約

出荷

請求

納品

検品

回収

● 収益の計上

商品等の販売

- ・ 出荷基準
- ・ 到達基準
- ・ 検収基準
- ・ 回収基準

請負

- ・ 工事進行基準
- ・ 工事完成基準

サービス

- ・ 役務提供完了基準

収益の計上基準
(工事請負)

成果の確実性

成果の確実性

成果の確実性

工事完成基準

受注 信用調査 契約

工事進行基準

工事進行基準

工事進行基準

第1次フェーズ

第2次フェーズ

第3次フェーズ

※ 工事進行基準の計算
(原価比例法)

工事収益の合計額

×

実際発生原価(分子)

工事原価の合計額(分母)

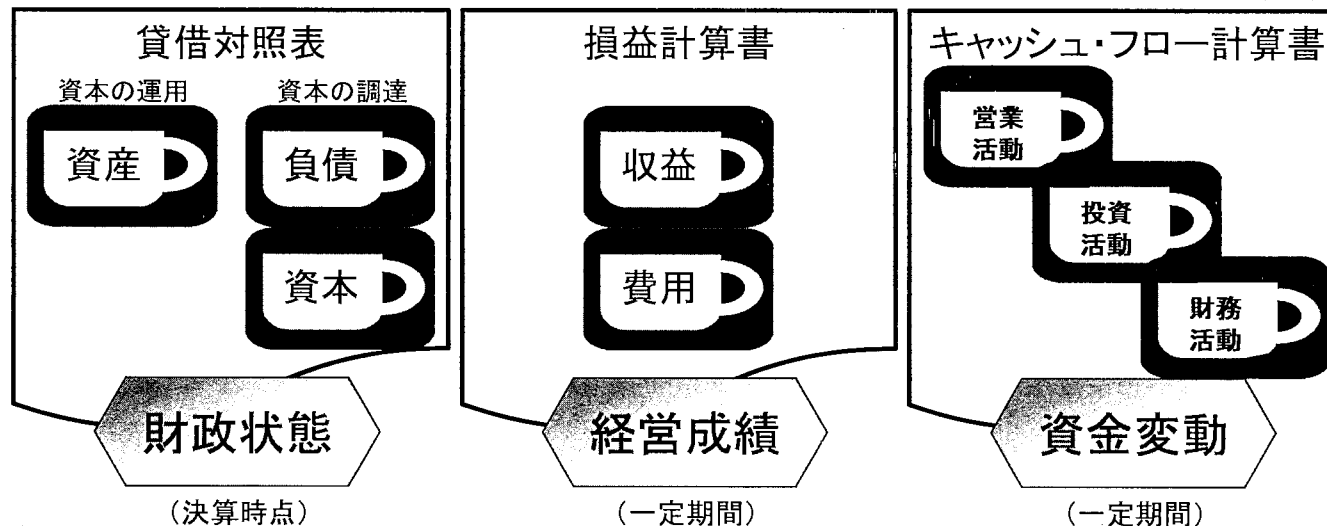
財務諸表の作成と表示(フレームワーク)1

基礎

企業は、日々の取引を記録、分類、集計して、利害関係者への報告書を作成する。この報告書のことを財務諸表と呼び、**財政状態、経営成績、キャッシュ・フロー**の状況に関する**情報を提供する**。

(財務報告の目的 = 意思決定の有用性)

財務3表

● 財政状態
(貸借対照表)

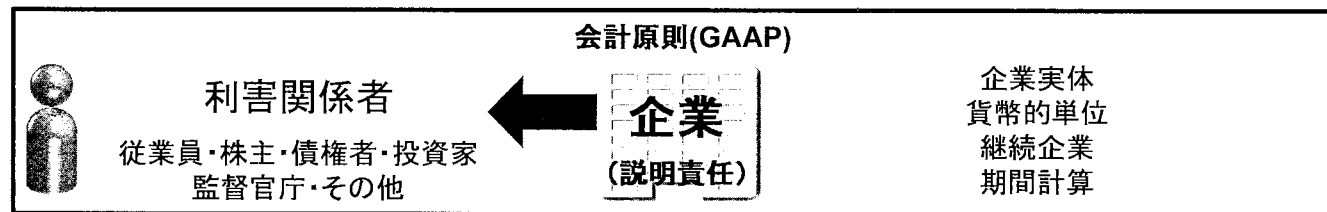
財務構造、経済的資源、流動性、支払能力、適応性を見る！

● 経営成績
(損益計算書)

経済的資源の変動、追加資源の効果的な利用、既存資源からのキャッシュ創出力を見る！

● 資金変動
(キャッシュ・フロー計算書)

営業活動、投資活動、財務活動に関する資金の状況を見る！

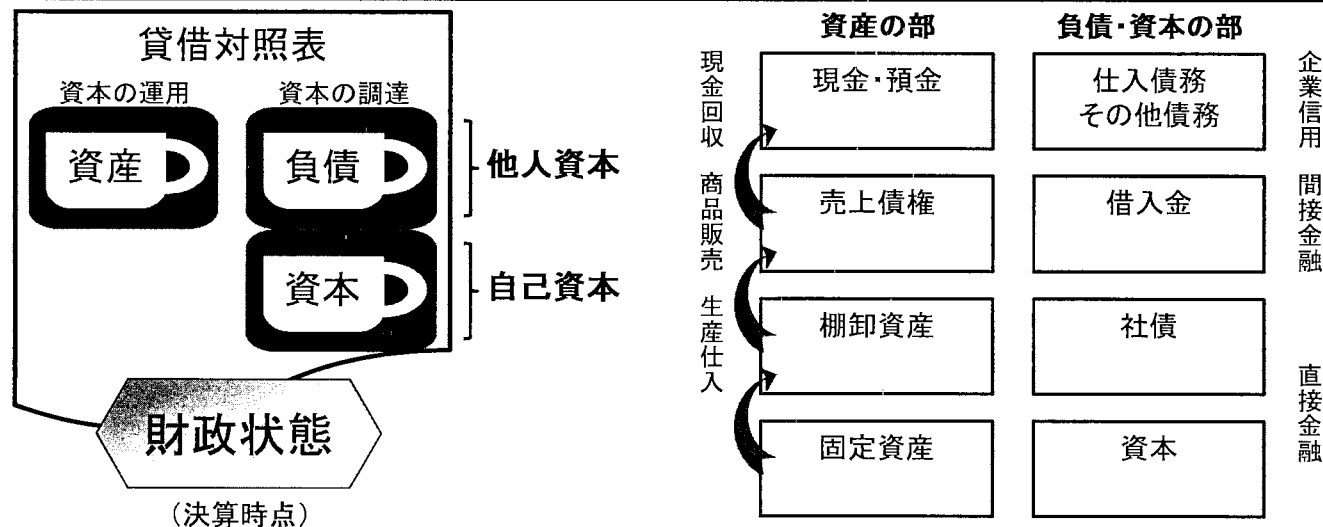


貸借対照表・損益計算書・キャッシュ・フロー計算書

基礎

BS フラッシュ

財務3表



資産の部
流動資産
固定資産
有形
無形
投資等

負債の部
流動負債
固定負債
引当金
負債性
資本の部
資本金
剰余金

● 企業会計原則(BS)

- ・ 本質
- ・ 区分
- ・ 配列
- ・ 科目の分類
- ・ 資産の評価
- ・ 費用配分の原則

● 1年基準(現金化)

- 1年以内 流動
- 1年超 固定

● 営業循環基準

受取手形/売掛金/棚卸資産のような通常の営業取引から生じた資産は、流動資産とする。

● 流動性配列法

貸借対照表の資産と負債は、現金になりやすい順番に並べられる。

貸借対照表

基礎

BS 売上債権(受取勘定)

財務3表

貸借対照表

資産の運用

資本の調達

資産

負債

資本

財政状態

(決算時点)

売上先との通常取引で発生した営業上の未収金を売上債権という

2ポイント

売上債権の評価

一般債権

経営状態に重大な問題が生じていない債務者に対する債権。

貸倒懸念債権

経営破綻の状態に至っていないが、債務弁済に重大な問題が生じている、または、生じる可能性の高い債務者に対する債権。

資産の部
流動資産
固定資産
有形
無形
投資等

負債の部
流動負債
固定負債
引当金
負債性
資本の部
資本金
剰余金

流動資産

受取手形
売掛金

滞留債権
貸倒引当金の計上
焦げ付き債権の償却(損金計上)
→ 十分な貸倒引当

● ファクタリング

売上債権をファクター(債権買取会社)へ割引売却することで、現金化すること。

・ 借方

現金	xxx
買取費用	xxx

・ 貸方

売掛金	xxx
-----	-----

● 年齢表

売掛債権の滞留状況が分析できる表のこと。

例

取引先	残高	30	60	90
xxx	xxx	xx	xx	xx
xxx	xxx	xx	xx	xx
xxx	xxx	xx	xx	xx

xxx	xxx	xx	xx	xx

貸借対照表

基礎

BS 棚卸資産

財務3表

貸借対照表

資産の運用

資本の調達

資産

負債

資本

財政状態

(決算時点)

2ポイント

棚卸資産の評価

継続記録法

棚卸資産の種類ごとに商品有高に、受入数量及び払出数量を都度継続して記録し、在庫数量を帳簿上明らかにする方法(期末に実施棚卸)

棚卸計算法

期中は、受入数量のみを記録して、期末に実施棚卸を行って残高数量を把握することで、払い出数量を間接的に把握する方法

資産の部
流動資産
固定資産
有形
無形
投資等

負債の部
流動負債
固定負債
引当金
負債性
資本の部
資本金
剰余金

流動資産

在庫圧縮と損失計上
原価主義および低価主義による評価
棚卸回転期間
→ 売れ筋とデッドストック

棚卸資産
商品
製品
仕掛品
半製品
原材料
貯蔵品

● 評価方法

- ・ 総平均法
- ・ 移動平均法
- ・ 先入先出法FIFO
時価に近い棚卸資産
- ・ 後入先出法LIFO
時価から乖離した棚卸資産
- ・ 個別法
- ・ 低価法
- ・ 売価還元法
期末棚卸資産(売価)
×
原価率

● 取得原価

購入代価
+
付随費用
運賃/保険料/保管費

貸借対照表

基礎

BS 有形固定資産 & 無形固定資産

財務3表

貸借対照表

資産の運用

資本の調達

資産

負債

資本

財政状態

(決算時点)

2ポイント

固定資産の種類

有形固定資産

実体を有し長期に渡って使用される資産

建物
機械
備品
車両
土地

無形固定資産

実体を有せず長期に渡って使用される資産

特許権
著作権
商標権
のれん
ソフトウェア

● 取得原価

購入代価

+

付随費用

運賃/保険料/据付費

● 販売用ソフトウェア

・ 研究開発費

(デザイン=費用)

(計画=費用)

(コーディング=費用)

(テスト=費用)

↓ 技術的実行可能性

(プロトタイプの完成等)

↓

・ 資産または費用

(機能改良/強化=資産)

(著しい改良=費用)

(バグ修正=費用)

↓

・ 資産の減価償却

資産の部
流動資産
固定資産
有形
無形
投資等負債の部
流動負債
固定負債
引当金
負債性
資本の部
資本金
剰余金

固定資産

有形固定資産
建物
機械装置
車両運搬具
土地
無形固定資産
電話加入権
ソフトウェア

A-1

アカウンティング
(基礎)

財務会計の基本的な概念と原則

TAC

損益計算書

基礎

PL フラッシュ

財務3表

損益計算書

収益

費用

経営成績

(一定期間)

● 企業会計原則(PL)

- ・ 本質
- ・ 発生主義の原則
- ・ 総額主義の原則
- ・ 費用収益対応の原則
- ・ 区分
- ・ 実現主義の原則

4つの利益
+ 税引後当期利益

- 売上高
- 売上原価
- 売上総利益(=粗利)
- 販売費及び一般管理費
- 営業利益(=本業の儲け)
- 営業外収益/営業外費用 ~ 例 受取利息/支払利息
- 経常利益(=経営全般の儲け)
- 特別利益/特別損失 ~ 例 固定資産売却益/除却損
- 税引前当期利益

A-2

アカウンティング
(基礎)

財務会計中級レベルの概念

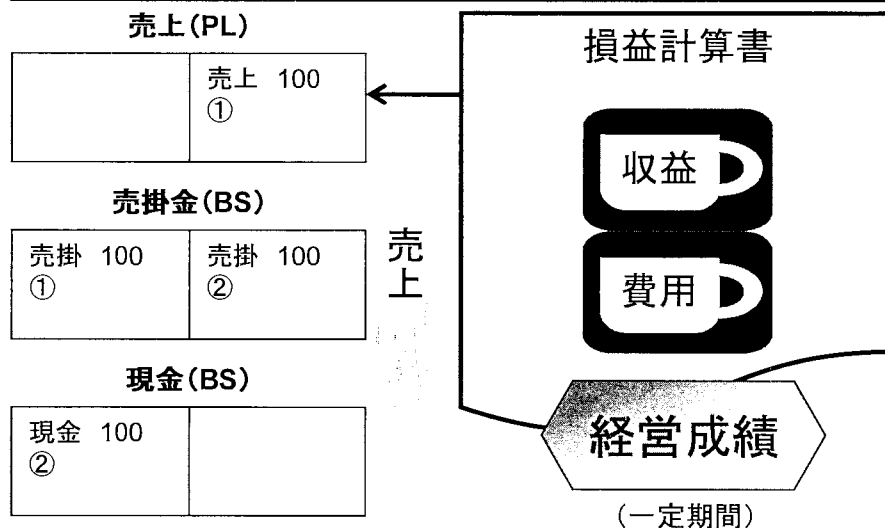
TAC

損益計算書

基礎

PL 収入(売上)

財務3表



● 仕訳&財務諸表

借方	貸方
資産の増加 負債の減少 資本の減少	資産の減少 負債の増加 資本の増加
費用の増加 収益の減少	収益の増加 費用の減少

資産	負債
	資本
	収益
費用	

売上高
 売上原価
 売上総利益(=粗利)
 販売費及び一般管理費
 営業利益(=本業の儲け)
 営業外収益/営業外費用 ~ 例 受取利息/支払利息
 経常利益(=経営全般の儲け)
 特別利益/特別損失 ~ 例 固定資産売却益/除却損
 税引前当期利益

A-2

アカウンティング
(基礎)

財務会計中級レベルの概念

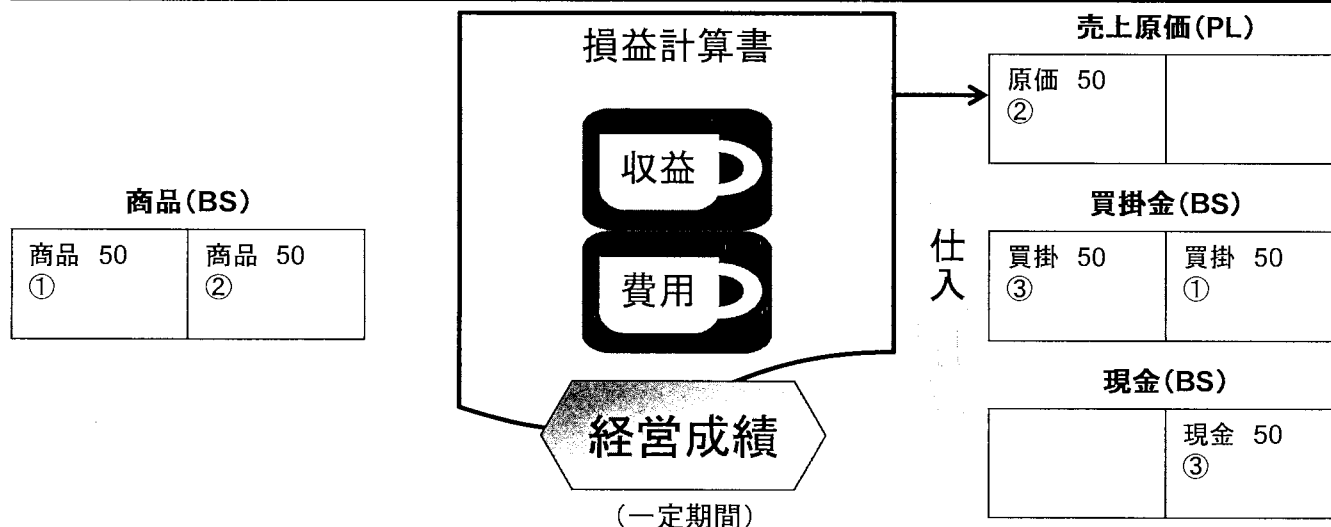
TAC

損益計算書

基礎

PL 支出(売上原価)

財務3表



● 仕訳&財務諸表

借方	貸方
資産の増加 負債の減少 資本の減少	資産の減少 負債の増加 資本の増加
費用の増加 収益の減少	収益の増加 費用の減少

資産	負債
	資本
	収益
費用	

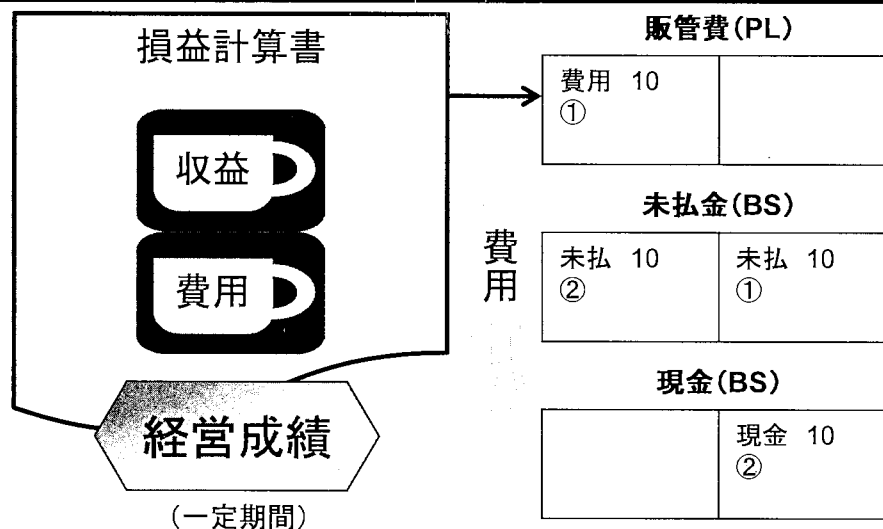
売上高
売上原価
売上総利益(＝粗利)
販売費及び一般管理費
営業利益(＝本業の儲け)
営業外収益/営業外費用 ~ 例 受取利息/支払利息
経常利益(＝経営全般の儲け)
特別利益/特別損失 ~ 例 固定資産売却益/除却損
税引前当期利益

損益計算書

基礎

PL 支出(費用)

財務3表



● 仕訳&財務諸表

借方	貸方
資産の増加 負債の減少 資本の減少	資産の減少 負債の増加 資本の増加
費用の増加 収益の減少	収益の増加 費用の減少

資産	負債
	資本
	収益
費用	

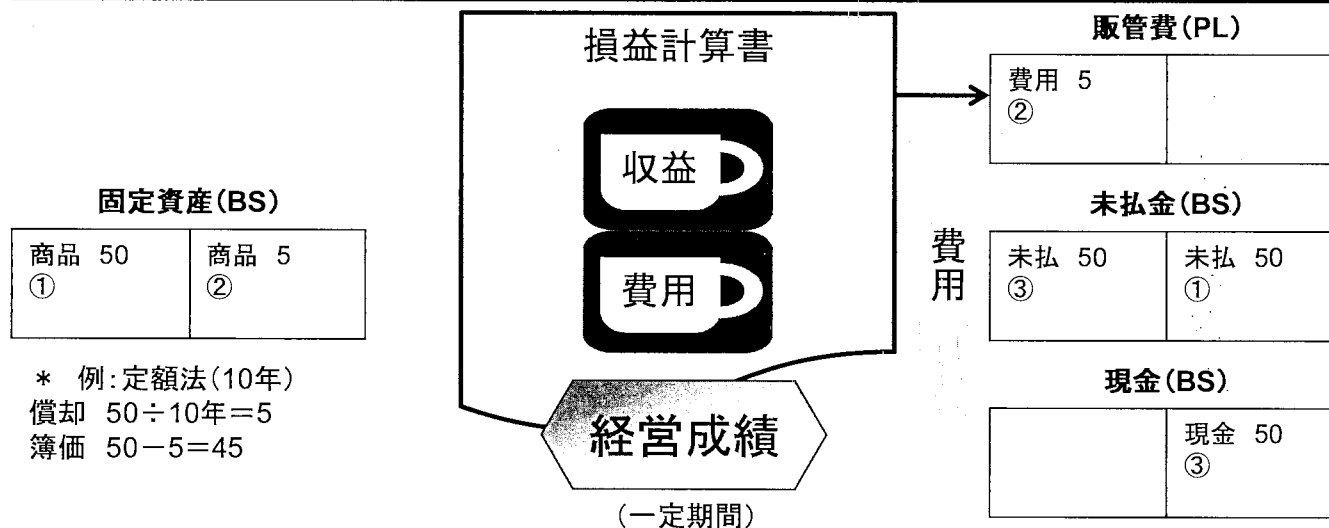
売上高
 売上原価
 売上総利益(=粗利)
 販売費及び一般管理費
 営業利益(=本業の儲け)
 営業外収益/営業外費用 ~ 例 受取利息/支払利息
 経常利益(=経営全般の儲け)
 特別利益/特別損失 ~ 例 固定資産売却益/除却損
 税引前当期利益

損益計算書

基礎

PL 支出(費用)減価償却(1)

財務3表



● 仕訳&財務諸表

借方	貸方
資産の増加 負債の減少 資本の減少	資産の減少 負債の増加 資本の増加
費用の増加 収益の減少	収益の増加 費用の減少

資産	負債
	資本
	収益
費用	

● 減価償却

4大要素

- ・ 取得価額
- ・ 耐用年数
- ・ 残存価額
- ・ 減価償却方法(次頁)

売上高
売上原価
売上総利益(=粗利)
販売費及び一般管理費
営業利益(=本業の儲け)
営業外収益/営業外費用 ~ 例 受取利息/支払利息
経常利益(=経営全般の儲け)
特別利益/特別損失 ~ 例 固定資産売却益/除却損
税引前当期利益

キャッシュ・フロー計算書

基礎

CF フラッシュ

財務3表

本業による収入と支出
(プラスは不可欠)

5,000

1,000

▲1,000

投資による収入と支出

▲1,000

▲2,000

500

財務による収入と支出

▲1,000

2,000

1,000

パターンA
(優等生派)パターンB
(積極派)パターンC
(やばい派)

キャッシュ・フロー計算書

営業
活動投資
活動財務
活動

資金変動

(一定期間)

- 現金
国内通貨
外国通貨
小切手
為替手形
郵便為替証書
トラベラーズチェック

- 現金とみなされない
切手(=通信費)
収入印紙(=租税公課)
回数券(=交通費)

- 活動の分類
 - ・ 営業
 - ・ 投資
 - ・ 財務

- 作成の方法
 - ・ 直接法(営業/投資/財務)
 - ・ 間接法(営業)



営業活動によるキャッシュ・フロー
直接法または間接法

投資活動によるキャッシュ・フロー
直接法

財務活動によるキャッシュ・フロー
直接法

現金及び現金同等物の増減額
現金及び現金同等物の期首残
現金及び現金同等物の期末残